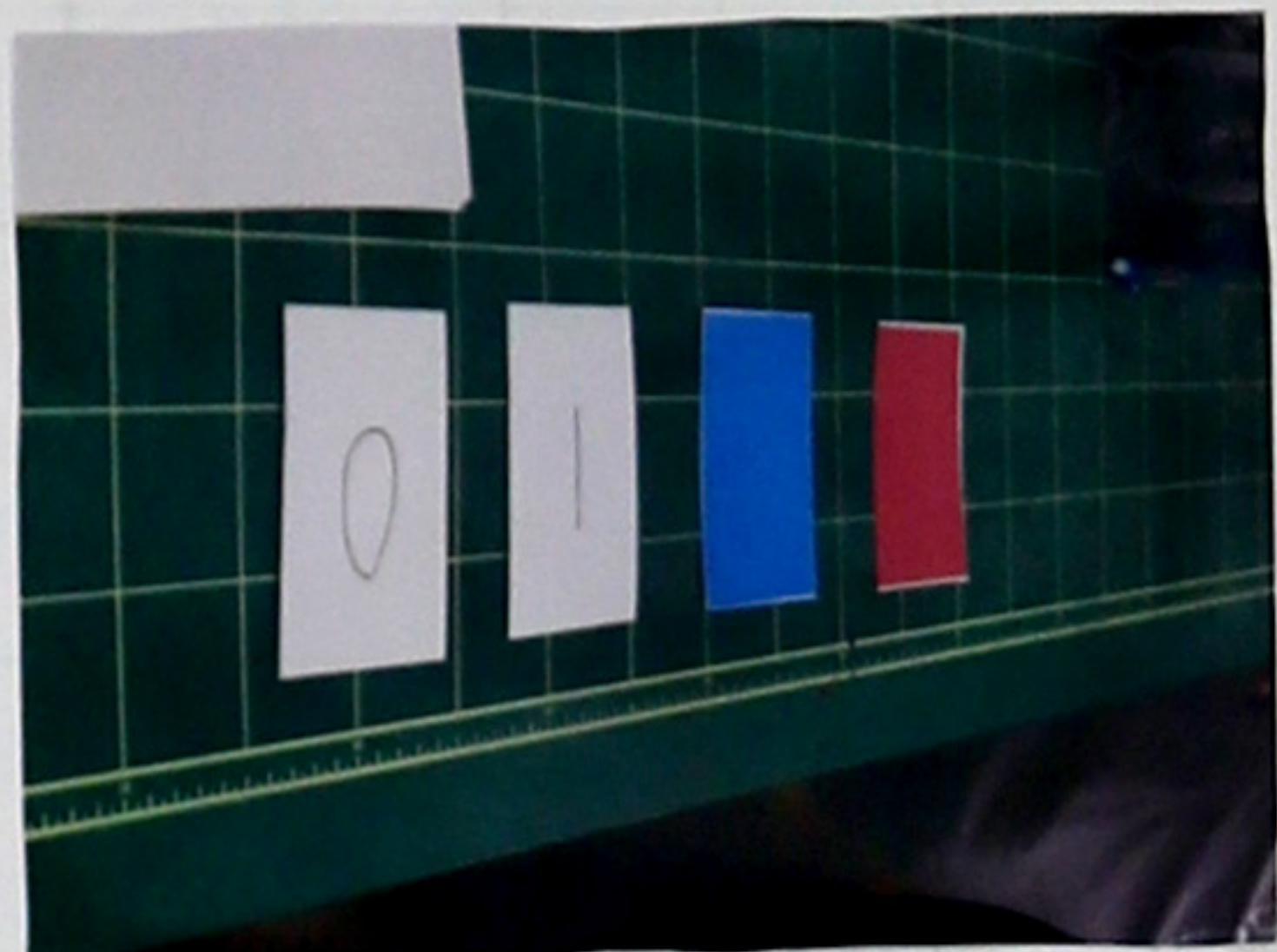


人は思い込みで どれだけ変わるの？

佐藤理玲

研究の目的

コミュニティサイエンスアカデミア第7回の講座で**確証バイアス**について知り、さらに知りたいと感じた。



バイアスとは

バイアスとは、「情報の認識や判断、記憶などの過程で生じる**思考の偏り**」を指す。

物事の判断や意見がこれまでの経験や思い込みに影響を受けて合理的でない判断・解釈をしてしまう現象をいう。

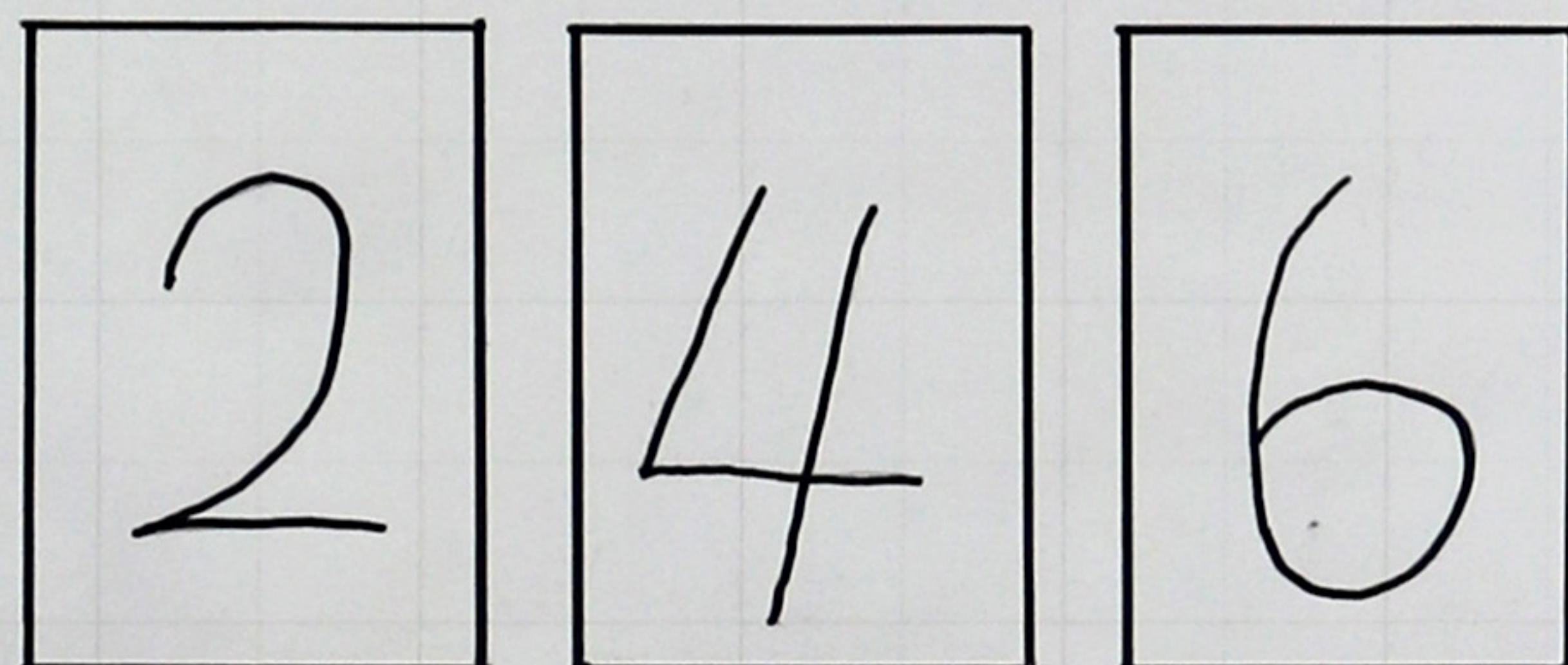
研究の方法

周りの人々で実験を行う。

この実験の基本的な流れは以下の通りである。

- 1, 提示: 被験者に「2, 4, 6」という3つの数字の並びが示される
- 2, ルールの推測: 被験者にこの並びが当てはまっている隠されたルールを推測するように求める
- 3, 検証の試み: 被験者は自分が推測したルールを検証するために自由に3つの数字の並びを提示することができる
- 4, フィードバック: 実験者は、被験者が提示した並びが実験のルールに合っているかいないかをその都度伝える
- 5, ルールの特定: 被験者は自分の推測したルールが正しいと確信した時点でそれを宣言する

真のルールは「昇順の数字の並び(数字が大きくなること)」である。例「8, 9, 10」「12, 15, 25」



結果

10人の友人で実験したところ、5人が「2ずつ増える偶数列」、3人が「偶数列」、2人が「等差数列」と答えた。結局、10人中10人が真のルールにたどり着くことができなかった。

考察

彼らが推測のために提示する並びは、特定の仮説を**確証**するものばかりで、自分の仮説が間違っていることを証明するような並びを積極的に試すことがなかった。

その結果、彼らは**実際**よりもはるかに狭いルールを宣言してしまい、真のルールにたどり着くことができなかった。

まとめ

人は思い込みによって合理的な判断をすることが疎かになってしまう。

時には、自分の意見に対して**否定的な意見**を考えることが大切。